



理想を形にできる職場
「心」に寄り添い



福地歯科医院

〒604-0825
京都府京都市中京区御所八幡町 231
シカタカトルズビル 2F

審美歯科のお仕事チェック!



模型を使って完成イメージを提示しながら、リスクなどについても丁寧に説明。常に「患者満足度」を指標にして業務に当たる。



関わる人数が多いほど、ヒューマンエラーが出やすく、いつでも安心の診療を届けるため、スタッフ間の情報共有を大切にしている。



ホワイトニングでは、カウンセリング、施術までを衛生士が一貫して行う。患者様の反応を直に見ることができ、やりがいを実感できる。

悩みを引き出し、先を見せる患者様の満足が真の目標

審美歯科は、患者様の「美しくなりたい」という想いをかなえる分野だ。一人ひとりの悩みや現状に対する不満に耳を傾け、「どうなりたいか」というニーズを理解し、治療後の姿を明確に提示することが大切である。「私たちが最善だと思ふような治療を行っても、患者様が満足してくれなければ成功とは言えません。心から満足してもらえる審美的修復と機能的な回復を実現することが真の審美治療であり、それをサポートすることが私たち衛生士の役割です」と丸橋さんは語る。

高いコミュニケーション力、マネジメント力が身に付く

セミナー講師を務め、インプラントコーディネーターとしても活躍する丸橋さん。審美歯科では、その全過程で衛生士の力が必要だと語る。「患者様に寄り添ったカウンセリングやプランの提案、そして衛生士にしかできない細やかなケアで、患者様の治療へのモチベーションを上げることが求められます。歯を削る、義歯をつくるという、私たちが直接携わらない領域でも、患者様とドクター・技工士との橋渡し役になることが必要。コミュニケーション力やマネジメント力が磨かれる分野だと思います。」

一歩先を見据えた「できる」気配りを!

審美歯科は費用や期間がかかるため、継続して来院していただくには細やかな気配りが必須。それには、目の前のことだけでなく、常に一歩先を考慮することが重要です。相手のことを思う、少し先の未来を想像する、そんな姿勢を大切にしています。



丸橋 理沙さん
●まるはしりさ
DH歴9年目

新大阪歯科衛生士専門学校卒業。週末はセミナー講師として新大阪を拠点に全国各地を飛び回る。貴重な休みはヨガで疲れを癒やしてリラックス。



口元に目が行きがちなので、見過ぎないように注意している